

主題：アブラハム，イサク，ヤコブの神

メッセージ 4

アブラハムの神（2）

神のみこころのために神との交わりの中に生きることに関する

霊的原則，命の学課，聖なる警告

聖書：創 18:20．歴代下 20:7．イザヤ 41:8．ヤコブ 2:23

- ．アブラハムが神の御前でなした栄光のとりなしは，二人の友の人に属する，親密な会話，神の心の願いの明示にしたがった親密な語り合いでした　ローマ 4:12．歴代下 20:7．イザヤ 41:8．ヤコブ 2:23．雅 1:1-4．啓 2:17．創 18．テモテ 2:1, 8：
- A．神はアブラハムに死ぬべき人の形で現れ，人の水準で彼と会話をしました　創 13:18．18:1-2, 13-15。
- B．アブラハムは神との甘い交わりを享受していた時，イサクの誕生とソドムの破壊に関して神から啓示を受けました　9-22 節：
 - 1．これは，神の意図が，キリストをわたしたちの中に造り込み，キリストをわたしたちを通して生み出し，わたしたちの人の命の中にある，働きの生活の中にある，クリスチャン生活と召会生活の中にある「ソドム」を破壊することであることを見せています　ガラテヤ 1:15-16．2:20．4:19．コリント 5:8。
 - 2．わたしたちは神との親密な交わりの中で，すべての不可能なことがキリストには可能になるという啓示を受けます　創 18:14．ルカ 18:27。
- C．神がアブラハムに，ソドムを破壊するというご自身の意図を啓示したのは，神がとりなす者を求めていたからです　創 18:17-22．参照，ヘブル 7:25．イザヤ 59:16．エゼキエル 22:30。
- D．創世記第 18 章は，とりなしの基本的な原則の明確な啓示を提示しています：
 - 1．正常なとりなしは，人によってではなく神の啓示によって始められます。ですから，それは神の願いを表明し，神のみこころを遂行します　17, 20-21 節．19:27-29．詩 27:4, 8．ヘブル 4:16．7:25．ヤコブ 5:17。
 - 2．一見して，アブラハムはソドムのためにとりなしていました。実は，彼は暗示によって口トのためにとりなしていたのです(創 14:12．18:23．19:1, 27-29)。これは，わたしたちが，この世に押し流された神の民のためにとりなすべきであることを見せています。
 - 3．とりなしは，神の心の内なる意図にしたがった神との親密な会話です。このためには，神の臨在の中に居続けることを学ばなければなりません　18:25-32．マタイ 6:6。
 - 4．とりなしは，神の義なる道にしたがっています。口トのためのアブラハムのとりなしにおいて，彼は神の愛と恵みにしたがって神に請い求めませんでした。彼は神の義なる道にしたがって神に挑戦しました　創 18:23-25．ローマ 1:17。
 - 5．アブラハムのとりなしが，アブラハムの語りかけをもってではなく神の語りかけをもって終わったのは，真のとりなしが，わたしたちの語りかけの中の神の語りかけであることを見せています　創 18:33．ローマ 8:26-27。
- ．神との交わりの中に生きingことを維持するためには，この世の気ままな生活の麻ひさ

せる効果に打ち勝つ必要があります ルカ 17:26-32 . 創第 19 章 :

- A . ロトが敗北したのは、神の承認と証しがあったアブラハムから離れて、ソドムという悪い町の中に押し流されたからです 13:5-13 . 14:12 . ペテロ 2:6-9。
- B . 偶像の場所であるカルデアのウル、この世の富と楽しみ場所であるエジプト、罪の町であるソドムは、カナンの町を取り囲む三角の境界を形成します。神の召された者はその中に住んでおり、このサタンの三角から救われなければなりません
エレミヤ 2:13 . 1 ヨハネ 5:21 . テモテ 3:1-5。
- C . 悪いソドム人は神を放棄したことで、神に放棄され、「恥ずべき激情」に渡されました。これは、人が神に反逆し、良心を拒絶したことの究極の結果です 創 19:4-11 . ローマ 1:21-27 . 2:14-15 . テモテ 4:2 :
- 1 . 神の全体的な救いにおいて、わたしたちはソドムのすべての罪深い事から洗われ、神によって聖別され、神によって義とされ、受け入れられることができます
コリント 6:9-11。
 - 2 . わたしたちが神に栄光を帰し、神に感謝し、神を礼拝し、神に仕えるなら、あらゆる種類の邪悪から守られます ローマ 1:21, 25。
- D . ロトが進んで自分の二人の処女の娘を犠牲にして、ソドム人の情欲を満たそうとしたことは、ロトがソドムの罪深い町に非常に長く住んでいて、道徳と恥の感覚を失ってしまったことを見せています 創 19:8, 11-13, 30-38。
- E . ロトには邪悪で罪深い町から逃れる気持ちはなかったのですが、主はあわれみ深く、薪が火の中から引き抜かれるように、彼をソドムから引き出しました 19:16 . 参照、ゼカリヤ 3:2 . ユダ 19-23 節。
- F . 「ロトの妻を思い出さない」は、この世を愛する信者たちに対する厳粛な警告です ルカ 17:31-32 . 19:15-17, 26 . 14:34-35 . 1 ヨハネ 2:27-28。
- . アブラハムは神との親密な交わりの正常な立場を離れた時、神の臨在を失い、再び肉の中において、以前の失敗を繰り返しました 創第 20 章 . 参照、12:11-13 . 13:18 :
- A . わたしたちの霊的到達がどれほど高くても、わたしたちがなおも旧創造の中にいる限り、もし神との交わりの中にとどまらなければ、肉の中において、この世の人々のように振る舞うことができます 20:2 . エペソ 4:17-19。
- B . アブラハムがアビメレクにうそをついたことは、彼が神の道に従い始めた時から計画していたことでした。ですから、彼の失敗は、主に従う事柄で隠された留保があり、絶対的に主に信頼しないという彼の隠された弱点を暴露しました 創 20:13 :
- 1 . アブラハムは、自分自身の失敗と、サラが子を産まないという事実にもかかわらず、アビメレクの必要のためにとりなさなければなりません。わたしたちが自分の必要を忘れて他の人の必要のために祈るなら、神は人のための祈りだけでなく、わたしたち自身のための祈りにも答えます 17 節 . ヨブ 42:7-10。
 - 2 . 人のためのとりなしは、自分の状態によるのではなく、わたしたちが何であるかによります。わたしたちは状態がどうであっても、神の召された者として、彼の預言者、彼の新創造、キリストのからだの肢体です 創 20:7 . コリント 14:31 . コリント 5:17 . エペソ 5:30。